

WRI News Letter 51

1978年2月5日 大阪府阿倍野区旭町2-12-2 ウリ大阪社 戦争抵抗者インナー-日本部 (WRI-Japan)

反原子力講座 126 場 場所 労働金庫本店会議室・環状線森宮南西4分

原周連主催、市民講座が二回は2月8日(水) 日六時30分からです。一どきいて下さい。

公が終つてふう君のカー音は、「ほんまにおそろしナア」。身にしみた音だつた。ほくは、あらかじめ書かれた本や久米さんの講演をまとめたパンフ「原子力発電は安全か」(これは、みんをよんでもらいたい)東京目黒区中目黒3-13-29



日消連内ひとりひとり原原子力の恐ろしさ
を伝える会発行も別冊30冊A5(53頁)、その他
資料などをよんで来た。それでもうすつかり
判つたような気になつて来たが、とんで
もないことだつた。そしてふう君の感想に
「さきにきておかつた。まその市川さんの
ときもそうやつたけど、こんなこと、めつ
たない。さがしまわつても出合える話
やない」となつた。実際、ほくは久米さん
の話をきまながら、何どか、活動的な友人
の顔をおもひ浮べた。その一人一人にこの
久米さんの話をきいてもらいたいと思つた。
こんな講座に出合うことは容易にあること
と思えぬ。大げさに言えば千載一ぐうの機
をぼくだけが受けるのはもつたいないとい
う気がしきりにした。(これは決して大げ
さでない物のアンケートのうち満了したよ
かつたが22もあつた。記入忘れら)参加者

宇里乃 邦加万乃 安以古登波 喫天爾乃利哉

宇利和飯

エネルギーを稼いだら？ 当然前日。人間は電気を使いすぎる王。一動物二局一

あさひまちから

1/30 (5)

① 1月30日 ② 事件で押収された物件中、証拠品として留置されていたステッカーなど、還付を請求していたところ、とうとう返却してきました。

なお不意新理由告知の請求に対して、被疑者は氏名不詳となつてるので、あなたに告知できない。「こ了解いたけませんか」という地検判事令状部課長さんの話とんでもない、氏名不詳者と謀とすることでガサをくつたのだから、こちらは被疑者だつたのである。どう言うわけで不起訴になつたか、どうしてそまきたい主任検事の意向をききたいというやりとりで、改めて後日電話して函折渉することになつた。

③ これに関して、国賠訴訟のの形をとつて不法な写真撮影による無形の押収(情報権の侵害)をやることとし、すでに弁護士とは打合せ済み。近く訴状が出来る。今右相当の期間か、るとおもうので気長に、多少はかばかしくてと投げずにやりぬかくぞ。新しい肉類提超として、モデルケースをつくりたいと思つてる。

④ ついては裁判闘争支援のカンパとして、還付されたステッカー(約4組(8枚一組))を買つてくれませんか。但し一組五〇〇円(千円以上のカンパを下さつた方には一組差上げ、今右裁判進行のつど、裁判資料

ニュースなどを送ります。へすでにカンパを預けている方にも以上のようにさせて頂きます。よろしく。

2月14日・PM6・解放センター3Fで。

軍費拒否のための確定申告の書き方
講習会
良心的軍費拒否の会代表 大野民出席

昨年12月8日、き直し市民連合主催の反自衛隊シンポジウムに出たときの感想。集会のことを新聞でみたという若い人が「自衛隊の真の集約をみると、条件などとてもよい。ほくの会社なんか比べて問題にならないほど。反対だ」といふ気持はあるが、たゞ反対だとさわりでも、現実的にもうどうしようもない気がする。どうしたらよいか、手のうちようがないおもいだ。何かあったことがあれば一と思つて出席したと云つた。とうろくにオンのれんに胸おして、どうしようもないというのは一応みんな同じおもいで、脱制軍実化がすむにつれて自衛隊存続の意思がでないまになつた。それをどうするかが問題として明らかに出てきた。

良心的軍費拒否は、このような状況の中で、全く新しい角度から、何よりも「平和憲法」を盾としさらに攻撃の武器として、つきつけることである。すくなくとも自衛隊の既成事実化のめどとなる。

入場券は大阪三三七七ウリジャパン向井君